



福田っ子だより

福田小学校だより 第6号 2024年11月6日発行

11月会礼 宮本校長の話

自分のいいところを伸ばそう

友達のいいところを認め合おう

今日から11月です。令和6年もあと2か月になりました。この2か月、みなさんがどんな生活を送って、どのように成長していくのか、そして、令和7年の始まりをどう迎えるかがとても楽しみです。

今日は、詩を紹介します。

「私が両手を広げても お空はちっとも飛べないが

飛べる小鳥は私のように 地面を速くは走れない

私が体をゆすっても きれいな音は出ないけど

あの鳴る鈴は私のように たくさんな唄は知らないよ

鈴と 小鳥と それから私 みんなちがって みんないい」

金子みすゞさんという人が作った詩です。この詩には私という「人」と、空を飛べる「小鳥」、かわいい音の出る「鈴」が出てきます。「人」はバタバタ両手を動かしても「小鳥」のように飛ぶことはできません。でも、「小鳥」は「人」のように速く走ることはできません。「人」が体をゆすっても音は出ませんが、「鈴」はかわいくきれいな音が出ますね。でも、「人」のようにいろんな楽しい歌を知りません。だから、「人」も「小鳥」も「鈴」もそれぞれにいいところがあるってということなのです。そこで、人には必ずだれにでもいいところがあって、それは人によって違って当たり前。だから、違うってことはいけないことでなくいいことなんだと作者は言っているんです。



その通りだなんて思います。自分と違うことをしていると、変とかおかしいと思ったりすることがあります。でも、違うのは変でもおかしくもない、ステキなことなのです。私たちは一人一人違います。全く同じ人なんてこの世にいません。顔や身長、できることできないこと、それぞれ違っていいんです。そういう違う人が集まって、クラスが、学年が、学校が、そして社会がやっと動くんです。みんな違うから助け合えるんですね。だから、違いはその人のいいところなんです。ぜひこういう思いをもってこれからの生活を送ってください。

さあ、今日から新しいステージ、「かがやき・真価のステージ」に入ります。自分のいいところをどんどん伸ばしていきましょう。そして、友達のいいところをみんなで認め合いながら、福田小の全員が輝ける生活を送りましょう。楽しみにしています。



令和6年度 福田小 PTA 実践活動

『A (あいさつ) S (そうじ) D (読書) K (交通安全)』

最優秀親子標語の決定！！

厳正なる審査の結果、以下の標語が最優秀賞に輝きました。おめでとうございます。

A あいさつが 人とつながる あいことば
(5年)

S ゴミひとつ ひろえば心に 花が咲く
(4年)

D 出会えるよ 心がおどる 一冊に
(6年)

K 「行けるかも」 ブレーキかけて その思い
(6年)



多数の御応募をありがとうございました。優秀作品は、校内体育館通路のところに掲示してあります。学校にお立ち寄りの際には、ぜひ御覧ください。



奉仕作業、資源回収への御協力をありがとうございました

9月21日(土)に奉仕作業、10月20日(日)に資源回収が行われました。保護者、地域の皆様には、御理解と御協力をいただき、本当にありがとうございました。

奉仕作業では、運動場や校舎周りの草刈り・草取り、教室内の扇風機の清掃などによって、学校内がとてもきれいになりました。

資源回収では、PTA 社会教育部の方を中心に、早朝から資源物の積み込みを精力的に行っていただきました。今回の収益金は、43,582円でした。これまでの収益とともに、子どもたちのために役立てていきたいと思っております。今後とも、よろしくお願いいたします。



福田小 HP は、
こちらからご覧
いただけます。

